



一月出川には天然のアマゴがおるし天然ブールもある。ワサレ谷やら中央構造線やらいろいろいな。

中西 央真さん(飯高町)

6月...そうやなあ、梅雨明け頃、8月頃よくうなぎを獲ったなあ。色々方法はあつたけど、昼間獲る時は、もめん針を半分折つたものにタコ糸をくりつけ、ミミズを刺して細いすず竹の先に付け、うなぎがいそうなる下でちらつかせながら食いつくのを待つ。食いついた瞬間、針がうなぎの口の中でつかえてもがく。

その手応えで引き上げる。夜は「もーじ」という仕掛けで獲ったなあ。竹で編んであつて先がすぼまった筒状のもので、中にミミズを置いておくんや。毎日くらい獲りに行つても必ず何匹かは獲れたから生け捕りにして池に放しとく。それを土用の丑にさばいて食べた...今はダムもできてしまつて、上がつてくるうなぎもおらんや。かいなあ...懐かしい思い出や。

床呂宗平さん(京都市)

子どもの頃は、大川(檜田川本流)ではなく、近くの谷で、水浴び・魚とり・上流への探検・その他あれこれいろいろ、時間を忘れて遊んだものです。まさに『自然の学校』でした。近年水量が減つてやせ細つていくこと、人工的になつていくことが残念です。

林田 守生さん(飯高町)

仁柿川の輩は一時おらんだったが最近また増えてきた。それにしてもこの頃は川で遊ぶ子ども少なくなつたなあ。

林 平次さん(飯南町)

相津川にはうなぎやスガ(もも)おつたし子どもの頃結構たのしめた。とにかく今より川がもつと綺麗で深かつた。

中村 賢さん(飯南町)

支流あつての檜田川



月出川



江馬小屋谷川

1 月出川

延長:6.0km, 流域面積:9.8km²

松阪市西部の高見山地(三峰山ほか)に源を發し、南流して檜田川へ合流する河川(左支川)。檜田川流域には西南日本を代表する大断層の中央構造線が東西方向に走っており、上流部の「月出の里」でその代表的な露頭が見られる。流域の表層地質は、中央構造線の北側は領家帯の花崗岩類、南側は三波川帯の結晶片岩類(変成岩の一種)によって構成され、流下に伴つて河川景観が変化する様子が観察できる。

2 蓮川

延長:15.6km, 流域面積:100.7km²

松阪市西部の台高山脈に源を發し、北側に隣接する青田川が流入して檜田川へ合流する河川(右支川)。秩父帯の堆積岩類からなる上流域は室生赤目青山国定公園内に位置し、江間小屋谷(えまこやだに)、宮の谷、奥ノ平谷、ヌタハラ谷などの溪谷美から奥香肌峽と総称される。平成3年に、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、水力発電(ダム式、最大使用水量9m³/s、最大出力4,800kw、三重県企業庁)を目的とする蓮ダム(国土交通省)が建設された。

3 青田川

延長:7.5km, 流域面積:29.6km²

松阪市西部の台高山脈(国見山)に源を發し、蓮川へ合流する河川。流域の表層地質は三波川帯の結晶片岩類(変成岩の一種)である。上流の木屋谷川からの取水により、水路式水力発電(最大使用水量1.5m³/s、最大出力2,800kw、三重県企業庁)が平成7年から行われている。蓮ダム貯水池(奥香肌湖)の主要な流入河川で、下流部に貯留ダムが建設されている。